



Time: 15:30時点

※前回報: 7月20日報 Vol.19

統括部 企画統括課

今週のTOPIC

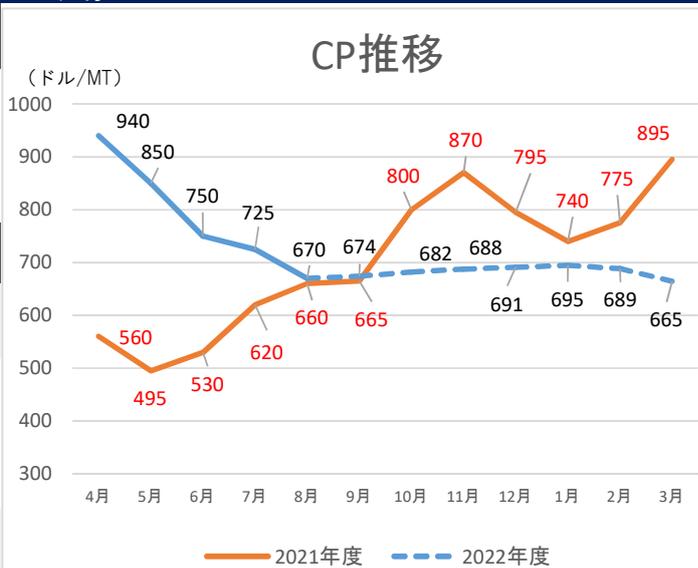
OPECプラス9月増産幅は米国要請に応えず日量10万バレルの過去最少増産幅で合意

■ [8月CP] プロパン: \$670 (前月比▲\$55)、ブタン: \$660 (前月比▲\$65) ■ [7月MB平均]: \$597 (前月比▲\$35)

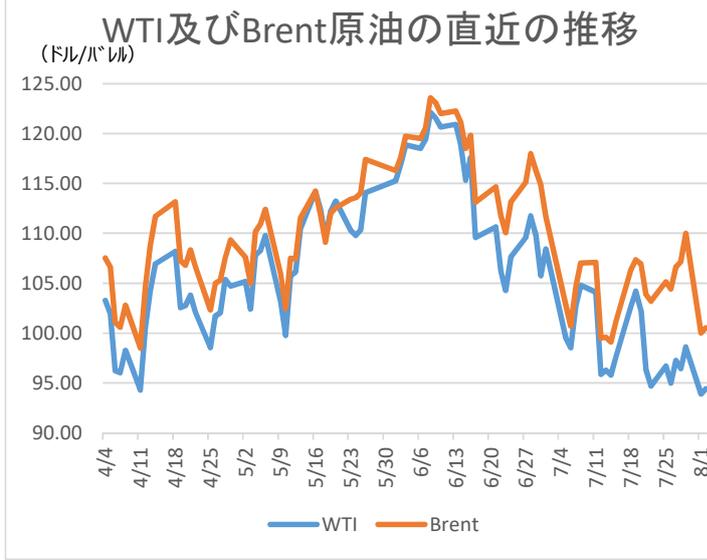
エネルギー市場

原油 先物 (USD/BBL)	今回
NY/WTI (9月)	94.42
北海Brent (9月)	100.54

LPガス 先物 (USD/MT)		AL熱量換算比			
プロパン予想値	今回	前回比	今回	前回比	
CP 9月	674	▲16	76%	▲2%	
MB 8月	600	+10			
プロパン	10月	11月	12月	1月	2月
CP先物	682	688	691	695	689
プロパン	9月	10月	11月	12月	1月
MB見通し	600	599	599	599	597



外航フレート (USD/MT)	8/2時点			
中東-日本	62.0			
米国-日本 (パナマ運河経由)	91.0			
為替/TTS	8月予測	7月	6月	5月
USD/円	20日 135.51	137.42	132.08	130.16
	末日 134.58	137.79	134.93	129.81



LPG元売り8月改定幅 (円/t)	プロパン	ブタン
ジャパンガスエナジー	改定レンジ: ▲1,800	▲2,550
ENEOSグローブ	改定レンジ: ▲4,500	▲5,200
アストモスエネルギー	改定レンジ: ▲4,300	▲5,200
ジクシス	改定レンジ: ▲4,700	▲5,200

マーケット概況

NYダウ (US\$)	今回 32,812.50	TOPIX (円)	今回 1,930.73
S&P500 (US\$)	4,155.17	金 (Gold) 先物 (US\$)	1,785.70
米国債券10年利回り (%)	2.732	VIX恐怖指数 (%)	21.95
日経平均 (円)	27,932.20		

当レポートの内容は伊藤忠エネクス(株)ホームライフ部門 統括部/企画統括課の発行日における見解を記したものであり、その正確性、完全性を保証したものではありません。また本レポートの無断掲載・転送・改変を禁じます。

今週のTOPIC

OPECプラス9月増産幅は米国要請に応えず日量10万バレルの過去最少増産幅で合意

原油概況

★景気後退懸念と米国原油在庫減の影響でWTI価格は小康状態の動き

影響度

強気・
上昇要因

- ① 米国原油在庫が1週間で400万バレル減となり当初予測の4倍の減少
- ② OPECプラス、今年の供給過剰予測を日量100⇒80万バレルに引下げ
- ③ ロシアの欧州向け天然ガス供給削減で石油へ燃転が進む可能性

弱気・
下降要因

- ① 米国、欧州、中国の製造業指標の弱さ受け世界的に原油需要減少懸念
- ② 米国の石油掘削リグ稼働数が4週連続増加し月間でも24カ月連続増加
- ③ リビアの複数油田で生産が再開、ブレント価格の上昇を抑える動き

LPガス概況

★不需要期と供給過多でCP \$ 600台の推移予測

(弱気)

- ① 米国プロパン在庫は需要と輸出の減少で前月比800万バレル増加
- ② インド国内の製油所稼働率が上昇し精製品LPGが増加
- ③ OPEC減産緩和に伴い原油随伴LPGが増加

「日本気象協会：3カ月予報」

- 【8月】 北日本では天気が数日の周期で変わり、東・西日本と沖縄・奄美は平年同様に晴れの日が多くなる見込み。
- 【9月】 北・東日本と西日本日本海側は天気が数日周期で変わり、西日本太平洋側と沖縄・奄美は平年同様に晴れの日が多くなる見込み。
- 【10月】 北日本と東・西日本日本海側は天気が数日の周期で変わり、東・西日本太平洋側と沖縄・奄美は平年に比べ晴れの日が少ない見込み。